

平成31年1月25日

報道機関 各位

第12回「人文知」コレギウム

地域で育む、地域を育む

富山大学人文学部は、学部教員による研究会「人文知」コレギウムを定期的を開催しております。富山県の「人文知」の拠点として、人文研究のさらなる高みを目指して、様々な分野の教員が集い、相互に研究交流を図ります（※「コレギウム」は「仲間たちの集い」という意味）。

来る1月30日（水）はその第12回となります。今回は、大西宏治（社会文化コース教授）「子どもの生活空間とまちづくりー楽しく失敗できるまちに向けてー」、安藤智子（言語学コース准教授）「『〇〇語らしさ』の音声学」の2名の発表となります（詳細は、別添チラシをご参照ください）。

なお、本研究会は、一般の方や学生の聴講も可能です（無料・事前申込不要、ただし、ウェブでの申し込みも可能 <http://www.diversitylounge.jp/collegium/postmail.html>）。当日の取材・報道方、よろしくお取り計らい願います。

日時：2019年1月30日（水） 14時30分～16時30分

（いつもとは時間帯が異なるのでご注意ください）

場所：人文学部1階大会議室

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学 人文学部総務課
TEL. 076-445-6131

第12回「人文知」コレギウム

地域で育む、地域を育む



一般の方の聴講
歓迎・事前申込み
不要・無料

2019年1月30日(水) 14:30~16:30

富山大学人文学部 1階大会議室

子どもの生活空間とまちづくりー楽しく
失敗できるまちに向けてー

大西宏治 (人文地理学) 14:30~15:30

子どもの遊びの空間の時代変化をみると戸外空間が減少し、屋内空間が増加することが指摘されている。その変化をもたらしたものは何なのだろうか。また、子どもたちの育ちにとってまちには何が必要なのだろうか。それらを紐解きながら、これからの時代に必要な子どもにやさしいまちづくりの取り組みを考える。

「〇〇語らしさ」の音声学

安藤智子 (言語学) 15:30~16:30

なんらかの言語や方言を聞いたとき、語尾などの文法的な特徴からだけでなく、音声面からも「〇〇語(方言)らしい」と感じることもある。その音声上の「らしさ」の正体は何か。曖昧な印象の「らしさ」を学問的に扱うことはできるか。岐阜県東濃方言の分析の例をもとに考えてみたい。